



医師会病院だより



理念

安心して暮らせる地域造りを目的とし、益田地域のニーズにあった保健・医療・福祉の提供を行います。

基本方針

1. 公正で安全な医療を提供し人材育成と研修の場を提供します。
2. 患者さま・ご家族さまの人権と意志を尊重した、納得と同意に基づいた医療を提供します。
3. かかりつけ医の支援病院としてきめこまかな病診連携を行います。
4. 在宅を目指した保健予防・リハビリテーション・緩和ケアの充実を図ります。
5. 公益社団法人として益田地域全体にわたる保健・医療・福祉のセーフティネットを構築し、公益の増進に寄与します。

第91号

- 医療の安全を皆さんと一緒に考えて行きましょう
- 看護の日のイベント
- 安田小児童による花のボランティア
- TQM発表大会
- 健康食レシビ

医療の安全を皆さんと一緒に考えて行きましょう

医療安全対策室 室長 大垣 久恵

医療安全対策とは

1999年に横浜で発生した「手術患者取り違え事故」をきっかけにして、わが国の医療安全対策は急速に進展しています。国のとった各種の医療安全対策に呼応して、医療現場も急激な変化を遂げています。医療安全対策の考え方としては、全ての関係者が積極的に取り組む必要があり、「個人の問題ではなくシステム全体の問題として、体系的に実施すべき」であると示されています。人間の処理能力には限界があります「To err is human」（人間はエラーをおかすものだ）を十分認識し安全なシステム構築、安全文化の醸成に努める必要があります。

医師会病院では2000年（H12年）にMRM委員会（メディカルリスクマネジメント委員会）を立ち上げ、現場の安全体制を検討してまいりました。そして2009年（H21年）に「医療安全対策室」を開設し、専従の看護師を配置しました。以来、4年間、現場の医療安全は変化して参りました。特に2011年から電子カルテと共に、インシデントシステム「セーフマスター」が導入され、従来の紙運用の報告から電子化されることにより、インシデントの共有・分析・集積・統計が飛躍的のしやすくなりました。院内の年間報告件数はヒヤリハット事象も含め年間約3000件で、電子カルテから手軽に入力できるため、報告部署も25部門と拡大しました。

医療安全推進チームについて

私は、医療安全対策室にH23年に着任いたしました。昨年は2年目を向え、専従の私ただ1人だけでは、現場の問題解決に追いついていけない無力感を感じていました。そこで、日頃から何かと相談しながら問題解決を行ってきた仲間と「チー

ム」を作って、現場レベルで実効性のある活動ができないものかと考え、MRM委員会に諮りながら1年間をかけて準備を行い、今年1月に「医療安全推進チーム」を立ち上げることができました。多職種で関わることで幅広い意見交換ができ、問題解決に向けて前向きに取り組むことができます。組織内の矛盾点を改善できるメリットや即効性を実感しています。また、チームでセーフティラウンドを行なうことで現場のシステムに触れ、理解を深めることができます。今後も問題提示していただいたスタッフの方や現場へ還元できる活動を、組織横断的に行なってまいりたいと思います。ハインリッヒの法則のように、小さな事象の内に解決して大きな事故へ発展しないようにチーム一丸となって活動して参ります。

ハインリッヒの法則
起こってしまった事象だけでなく、潜在する危険に注目！



昨年度との比較

報告件数が多いほど、問題意識を持った職場であり Patient Safety（患者安全）の視点で考え行動しているということです。看護職やリハビリ科の報告件数が多いのは、最も患者さんの近いところで処置や看護ケアを行う実行者であるからということになります。

部門別インシデント件数

	H23年度	H24年度
看護部	2508	2411
医局	9	1
薬剤科	72	69
リハビリ科	325	288
放射線科	17	24
医療相談室	2	4
栄養管理室	56	43
検査科	15	20
生理検査室		1
内視鏡室		5
臨床工学室		26
事業本部	0	1
経理課	0	1
施設課	0	0
総務課	3	2
医事課	7	5
病歴管理室	1	1
合計	3015	2902

報告が減少したから安全ということではありません。安全な医療を提供し続けるための日々の努力、「まだまだこれからです」という真摯な気持ちを大切にしています。

一つの事象は部門を越えて発生する場合も稀ではありません。多職種で共有することで経験知も高まり、次の事象を回避することに役立ちます。

「報告書は宝物」です。報告者が報告して良かったと思っただけの改善を心がけて行きたいと思っています。

安全で質の高い医療を提供するためには、テクニカルスキルと共にノンテクニカルスキルも重要です。コミュニケーションに代表されますがキーワードはSpeak up(声を出そう)です。

大垣室長を中心にセーフティ
ラウンドを行っている医療
安全推進チーム



医療安全推進チーム

診療部門	副院長 (リーダー)	五十嵐 雅彦
医療安全対策室	専従 (サブリーダー)	大垣 久恵
診療部	リハビリテーション科長	広瀬 強志
	薬剤科長	西迫 多重
	検査科長	豊田 健治
	臨床工学室主任	藤川 ひづる
看護部	看護副部長	斉藤 裕子
事務部	総務課長	椋 健朗

看護の日のイベント

5月12日はナイチンゲール生誕を記念した「看護の日」です。そして12日の看護の日を含む週の日曜日から土曜日までが「看護週間」となっています。



原浜保育所園児の絵

当院でも5月14日に毎年恒例、看護の日にちなんだイベントを行いました。今年も、原浜保育所の園児に書いて頂いた「看護師さんの絵」が展示されました。とてもかわいい絵に入院患者様や来院された方々はみな足を止めて見ておられました。また午後からは、院内保育所「さくらんぼ保育所」の園児たちがナース服に身を包み「リトルナース」として元気よく歌を披露しました。その後「リトルナース」



さくらんぼ保育所園児によるリトルナース



リトルナースによるお見舞い

達は、各病棟の入院患者様の病室を訪れて「早く元気になって下さい!!」と手作りの花を手渡しました。手渡された患者様はとても喜んでおられました。

安田小児童による花のボランティア

5月22日に安田小の児童による花のボランティアが当院の療養病棟で行われました。これらの花は、安田地区のボランティアの方々



ボランティアの方々育てた花

が自宅で育てた花をそれぞれ持ち寄り、花束にしたものです。安田小の児童5・6年生計13名でおもに学校の行事などを取り仕切っている児童達が来院しました。あいさつを済ませた後、1階と2階の二手に分かれ、エントランスで歌を歌ったり、風船バレーをして楽しみました。そして児童たちが、各部屋の患者様に一人一人に花束を渡してまわり、患者様はとてもいい笑顔で受け取っておられました。



児童のあいさつ



風船バレーを楽しむ患者様



花束を手渡す児童

改善への取り組み 第49回TQM発表大会

5月25日(土)第49回TQM発表大会が開催されました。今回も県内外からたくさんの方々にご参加をして頂きました。病院方針である「医療法改正、診療・介護報酬同時改定への対応」、くにさき苑方針である「生活機能の維持・回復を図り、在宅復帰・在宅療養支援のため地域拠点施設を目指す」に基づき16サークルが2会場に分かれて半年間にわたる改善活動の発表を行いそれぞれ優秀賞、特別賞の選考を行いました。

優秀賞

国保Chan基金kunサークル
黒衣サークル

特別賞

こめこめサークル
さくらんぼサークル

次回の11月のTQM発表大会は50回目の記念大会となりますので次回発表のサークルは、より気合を入れて頑張ってもらいたいと思います。これからもよい結果が生まれるよう継続して取り組んでいきたいと思っています。



健康食レシピ^{レアチーズ風}

チーズケーキにはバイクド(焼)、スフレ(湯煎焼)、レア(冷製)タイプなどありますが、クリームチーズや生クリームを使っている分、スイーツのなかでも高エネルギーです。今回はヨーグルトの水分を切って濃厚な口当たりでチーズかな?と見せかけたレアチーズ風のデザートを紹介します。

乳製品は日本人に不足しがちな栄養素 **カルシウム** を多く含んでいますが、プロセスチーズやクリームチーズは高エネルギーとなってしまうがち。カルシウムの成人の目標摂取量は600mgといわれていますが、平成23年度の国民栄養調査結果では約500mgにとどまっています。おやつとしてとるにも、栄養のことも考え、ヘルシーで不足分を補えるものがよいですね。



5人分

無糖ヨーグルト	300g
牛乳	50cc
砂糖	20g
粉ゼラチン	5g
水	30g
レモン汁	3cc
ブルーベリー (いちごなどでも)	50g

一人分

エネルギー	65kcal
たんぱく質	3.5g
脂肪	2.2g
炭水化物	8.3g
コレステロール	8mg
カルシウム	85mg

【作り方】

下準備

ざるの上にキッチンペーパーをしいたうえにヨーグルトを入れ、1時間以上おき、しっかりと水気をきります。

粉ゼラチンは分量の水にひたしておきます。

調理

の水気をきったヨーグルトをボウルにいれ、牛乳、砂糖を加えて泡だて器でしっかりと混ぜ合わせます。

のゼラチンを電子レンジ(500W30秒程度)で溶かし、に加え、レモン汁を加えてよく混ぜ合わせたら型に流しいれます。冷蔵庫で冷やし固めます。

ブルーベリーはミキサーにかけてソース状にします。

盛り付け

固まったら、型から出して切り分け、ソースをかけて出来上がり。

医師会病院ホームページ
栄養管理室連載記事5月号より

益田地域医療センター医師会病院 外来診療担当医一覧表

平成25年6月1日より

診療科	診察	月	火	水	木	金	備考
内科 消化器内科	午前	狩野 稔久	古田 晃一郎 (消化器内科併診)	小川 哲生	狩野 稔久	小川 哲生	内科一般 消化器内科(火曜日)
						古田 晃一郎 (再診のみ)	
循環器内科	午前				渡邊 伸英 (9:00~15:00)		循環器内科
外科	午前	服部 晋司	服部 晋司 (第1・3・5週)	榎野 好成	五十嵐 雅彦 (再診のみ)	五十嵐 雅彦	消化器外科・呼吸器外科 小児外科・肛門科 一般外科
			五十嵐 雅彦 (第2・4週)		山野井 彰 (胆・肝・膵外科) (13:00~)		
肛門外科(外科併診)	午前				服部 晋司		
整形外科	午前	守屋 淳詞 (脊椎は除く)	休診 (手術日のため)	大中 博司	大中 博司	守屋 淳詞 (脊椎は除く)	整形外科一般
	午後	大中 博司 (13:00~再診のみ)					
麻酔科	午前					島大麻酔科	交互診察 (島根大学麻酔科教授月1回不定期診察)
リハビリテーション科	午前	新垣 美佐	柿木 伸之	新垣 美佐	中島 暁美 (9:30~12:00)	柿木 伸之	リハビリテーション科全般
リウマチ科 (電話予約制)		角田 佳子 (9:00~15:00)	近藤 正宏 (9:00~15:00)				膠原病専門外来 近藤(火)・角田(月)の週1回交互診察 電話による完全予約制
呼吸器外科	午前		岸本 晃司 (9:00~12:00)				第2・4火曜日 呼吸器疾患全般 二次健診後のフォロー
循環器外科	午前			末廣 章一			第1水曜日 (心臓・血管外科)
婦人科		木島 聡 (午後)	休診	木島 聡 (午前、午後)	木島 聡 (午前)	木島 聡 (午前)	電話による予約制 水曜午後は検診のみ 午前:8:30~11:00午後13:30~16:30
特殊外来	脳神経領域	午前		山崎 達輔			
	放射線治療	午前				猪俣 泰典(教授) 玉置 幸久	第4金曜日 猪俣・玉置の交互診察
	乳腺外来	午後		榎野 好成 (13:00~)			電話による予約制13:00~
	緩和ケア外来	午前			五十嵐 雅彦 服部 晋司		
	セカンドオピニオン外来	午前				田島 義証 (島大消化器総合外科教授)	第3金曜日 電話による完全予約制

初診受付 午前8時30分~11時00分 再診受付 午前8時30分~11時30分

但し、急患の場合はこの限りではありません。

セカンドオピニオン外来(完全予約制)のご案内

当院では完全予約制でセカンドオピニオン外来を実施しております。セカンドオピニオン外来では、現在いずれかの主治医におかけの患者様を対象に現在の診断・治療に関して島根大学の専門家が意見を提供いたします。その意見や判断を患者様のご自身の治療法を選ぶ際の参考にして頂くことが目的です。

相談日

月1回第3金曜日(完全予約制)

必要書類、料金等詳細についてはお問い合わせ下さい。窓口：外来師長

発行：益田地域医療センター 広報委員会

〒699-3676 島根県益田市遠田町1917-2 TEL：0856-22-3611(代表) FAX：0856-22-0407

E-mail：info@masumi.shimane.med.or.jp 医師会病院URL：http://hp.masuda-med.or.jp/